諏訪市上諏訪駅周辺地区整備基本構想 検討委員会(第一回)

Contents

- I. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想について
 - 1. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想策定の背景と 目的について
 - 2. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想の位置づけと構成(案)
 - 3. 対象区域の概要
- Ⅱ. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会について
 - 1. 検討委員会設置の目的
 - 2. 検討スケジュール (案)
- III.上諏訪駅周辺地区の現況特性について
 - 1. 上位・関連計画等の整理
 - 2. 広域的な交通インフラの現況整理
 - 3. 対象区域周辺の現況整理
 - 4. 対象区域の現況整理
 - 5. 市民意向の整理
 - 6. 基本構想検討にあたり必要な視点の整理

IV.参考

- ・「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」における 現況把握一抜粋一
- 諏訪都市計画図
- ・ 上諏訪駅周辺の主な変遷



1. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想策定の背景と目的について

-背景-

●諏訪湖スマートインターチェンジの開通

- ・2021 (令和3) 年度に上諏訪駅と諏訪湖を結ぶ柳並線が開通 し、**2025 (令和7) 年度には中央自動車道諏訪湖スマートイン** ターチェンジが完成予定 (P4 参照)。
- ・上諏訪駅は、**交通の結節点としての重要性がますます高まる**ことが 期待されている。

●駅周辺の老朽化・利便性に係る課題への対応の必要性

・東西駅前広場の使い勝手の悪さ、西口駅前広場から上諏訪駅 (ホーム)へのアクセス、駅舎の老朽化等の課題があり、まちの玄 関口としての機能を十分に果たせていない状況にある。

●公民連携まちづくりの推進

- ・2022 (令和4) 年、「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を公民 連携により策定。
- ・2024(令和6)年3月、**公民連携のエリアプラットフォーム「スワ・マチ・ミライ」設立**。空き家活用や居心地の良いまちなかづくりに向けた活動を推進。



対象地位置図

-目的-

交通の結節点、東西の往来のしやすさの向上、滞留・滞在の場の創出等、まちのエントランス空間として望ましい駅周辺へと再生することをめざし、「スワ・マチ・ミライ」を含めた市民ニーズを反映しながら、西口駅前広場の整備を念頭に置き、東西駅前広場や駅周辺に導入すべき施設や機能を検討し、整備方針を定めることを目的に、上諏訪駅周辺地区整備基本構想を策定する。

2. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想の位置づけと構成(案)

■位置づけ 未来ビジョン策定会議官民連携上諏訪駅周辺 マスタープラン諏訪市都市計画 官民連携上諏訪駅周 **未来ビジョン** まちなか **まちなか** 令和3年12月 諏訪市 補完 令和3年12月 第六次諏訪市(平成31年3月·諏訪市 諏訪市立地適正化計画 連携 即す 実現に向けた 1 2 月 方針を定める 諏訪市地域公共交通活性化協議会 令和5年3月 地域公共交通計画 諏 **合** 計 諏訪市 市画 連携 即す 画

■構成(案)

- 1. 構想の目的・位置づけ・対象区域
- 2. 上諏訪駅周辺地区の現状と課題
- 3. 上諏訪駅周辺地区の将来像と整備・取組の基本方針
- 4. 駅舎や駅前広場等に求められる 機能・施設等
- 5. 機能・施設のゾーニング・配置案
- 6. 整備取組の実現方策

3. 対象区域の概要

・対象区域は、諏訪市、諏訪市土地開発公社、JR 東日本旅客鉄道㈱の3者が所有する土地約4.3ha^{*}



※面積: CAD 計測

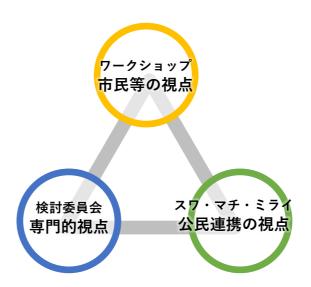
1. 検討委員会設置の目的

- ・「上諏訪駅周辺地区整備基本構想(案)」(以下、「基本構想(案)」という)を 2025 (令和7) 年度に策定すること目指し、**駅周辺における有効的な土地利用や活気あふれるまちづくりに向けた、専門的かつ幅広い分野の意見を聴取するため、**「諏訪市上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会(以下、「検討委員会」という)を設置する。
- ・なお、基本構想検討にあたっては、ワークショップ等による「市民の視点」、公民連携プラットォームであるスワ・マチ・ミライ等 との連携による「公民連携の視点」、検討委員会での「専門的な視点」の**三位一体の視点で検討を行うこととする。**

2. 検討スケジュール (案)

- ・検討委員会は、計4回程度の開催を予定し、1回目は「現況特性、検討の視点について」、2回目は「基本方針・機能等について」、3回目は「ゾーニング・施設配置等について」、最後の4回目は「基本構想(案)とその実現方策について」の協議を予定する。
- ・将来の公共空間の使い手や担い手となる市民の想いを可能な限り反映するため、**ワークショップや社会実験により市民** 等のニーズや想いを確認し、検討委員会での共有を図る。
- •2026 (令和8) 年度前半に基本構想策定を目指し、これにもとづく西口駅前広場整備を行い、2030 (令和 12) 年度末の供用開始を目途に進める。

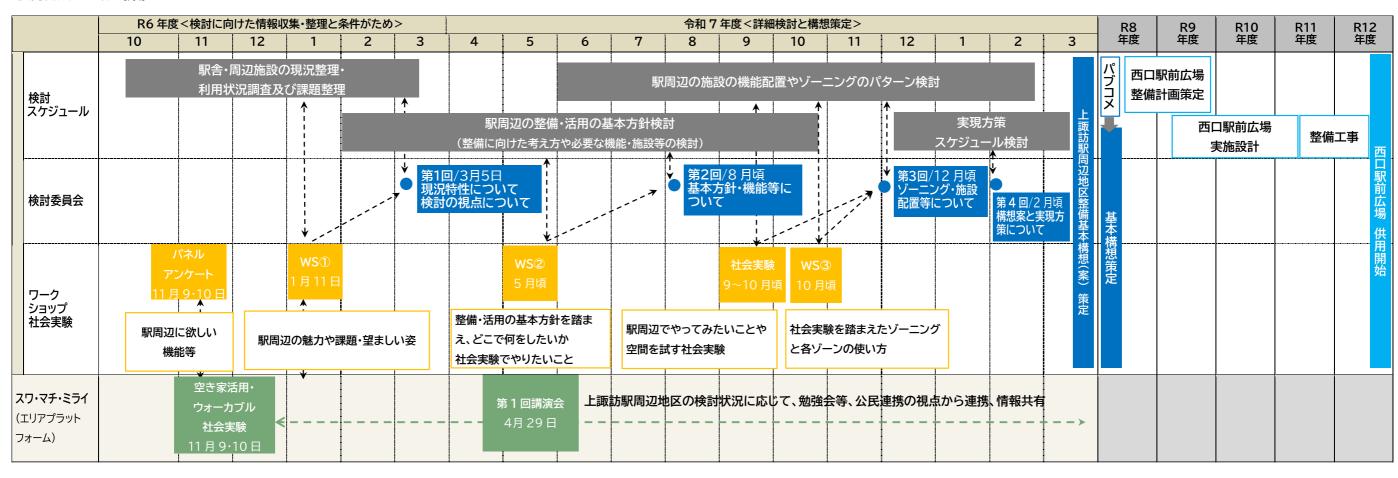
基本構想の検討体制



検討委員会の内容(案)

回	内容
1	・基本構想・検討スケジュール等について ・現況特性(第1回ワークショップ結果等を含む)について
2	・整備の基本方針・導入機能等について ・第2回ワークショップ結果について
3	・ゾーニング・配置パターン・駅周辺の整備イメージについて ・社会実験・第3回ワークショップ結果について
4	・基本構想(案)について ・整備に向けた実現方策・スケジュール等について

■検討スケジュール(案)



1. 上位・関連計画等の整理

【上位・関連計画における対象区域の主な方向性・取組】

- ○交通結節点としての機能強化・利便性の向上
- ・諏訪湖スマートインターチェンジ開通に伴い上諏訪駅周辺の交通結節点としての重要度が増しているなか、西口駅前広場の機能強化、公共交通の起点となるバスターミナルの設置を検討(第六次諏訪市総合計画、諏訪市都市計画マスタープラン)
- ・上諏訪駅から西口に直接連絡できないなか、駅の橋上化の検討等利便性の向上につながる東西市街地の連携と円滑な交通実現(諏訪市都市計画マスタープラン、諏訪市立地適正化計画)
- ・上諏訪駅と主要な観光資源を結ぶ**観光二次交通の検討**、利用者ニーズに合わせた**既存公共交通の再編**、バス待ち環境の改善による**利便性の向上**(諏訪市都市計画マスタープラン、諏訪市立地適正化計画、諏訪市地域公共交通計画)

○中心拠点としての魅力向上

・商業・業務、居住等の高次都市機能の集積、観光資源を活用した都市間交流拠点の形成、市民の積極的な活用を想定した交流・活動の場の創出(諏訪市都市計画マスタープラン、諏訪市立地適正化計画、上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン)

【上位・関連計画の概要】

凡例:○交通機能 ○拠点機能

	計画	将来像·方針等	現状や課題	方向性·取組
	第六次諏訪市総合 計画 (令和4年4月策定)	■ 基本構想 魅力の架け橋 高原湖畔都市 〜シゼンとヒトがつながる、 すわ〜	■現状 駅東口側の駅前開発や駅西口側の幹線道路整備の完了、スマート IC 整備に併せ、上諏訪駅の交通結節点としての重要度が増している。 住宅の耐震化は補助制度等により進捗しているが、その他建築物の耐震化が進んでいない。 ■課題 長年の課題である JR 線の連続立体交差化事業、上諏訪駅舎老朽化に伴う橋上化の研究・検討、駅西口広場等周辺整備に対する具体的な検討が必要。	■上諏訪駅西口広場等の整備促進 交通結節点としての上諏訪駅西口広場の機能強化に加え、日常的に人が集まることによる賑わいの創出、広場等空間の利活用の充実を目指し整備する。 ■地域公共交通ニーズを最適化した路線構築 通院や買い物、通勤通学等の交通ニーズを把握しながら、最適な地域公共交通の構築を図る。
上位計画	諏訪市都市計画 マスタープラン (平成31年3月改定)	■都市の将来像 自然の恵みと地域の活力が 調和するやさしさとふれあいの まち 諏訪	■諏訪市における都市の課題	■商業・業務地(中心市街地) 上諏訪駅周辺に商業・業務施設、高層集合住宅、地域住民の交流や活動の場等を集積し、活力と魅力ある地域を形成する。 ■上諏訪駅周辺の利便の向上 交通結節点である上諏訪駅周辺に公共交通の起点となるバスターミナルの設置を検討する。 鉄道利用者や観光客の利便の向上を目指し、駅の橋上化を検討する。
	諏訪市立地適正化 計画 (平成31年3月改定)	■立地適正化計画における まちづくりの方針 上諏訪駅周辺を主要拠点と した医療・福祉・産業・観光・ 商業の連携による魅力的な 都市機能の集積と地域の伝 統的な居住スタイルとの都市 内交流の実現	自動車依存社会から、公共交通利用への転換が必要である。 高齢社会における移動手段の確保が必要である。 効率の良い公共交通の運営が必要であるとともに、公共交通の利用促進と利用しやすさの向上が必要である。	■中心拠点の果たすべき役割 諏訪市の中心拠点としての高次の都市機能の集積 公共交通による市民交流の拠点となる都市内交流拠点の形成 観光資源を活用した都市間交流拠点の形成 地域の生活を支える生活サービス機能の集積 ■居住を誘導するための施策 駅の橋上化を検討し、市民にも観光客にも魅力ある駅周辺の整備を推進する。 鉄道の連続立体交差を検討し、市街地の東西の連携と円滑な交通を実現する。 交通結節点である上諏訪駅周辺に公共交通の起点となるバスターミナル設置を検討する。
関	上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(令和4年3月策定)	■私たちが目指す上諏訪駅 周辺の将来像 美しい楽しい懐かしい優しい 旨しい 上諏訪駅周辺の魅力・資源を余すことなく感じる ことができるまち	■現状 上諏訪駅西口広場は、柳並線の開通、さらには中央自動車道のスマートインターチェンジ開設により、今後、市民や来街者にとって交通の拠点としての重要性がますます高まる場所となる。 上諏訪駅から直接西口への連絡ができない。 ■課題 既存資源を活かした産業育成、交流人口・関係人口の増加 転入が多い就職期(20代)の定住化促進 空き家・空き地など既存ストックの活用 安全・安心で回遊しやすい歩行環境づくりと災害への備え 上諏訪駅周辺の成り立ち(自然、歴史・文化、土地の特性)を活かした資源の活用	■まちのエントランス空間整備 東西の連絡しやすさの向上につながる駅のあり方について検討すると共に、駅前広場の安全・快適性、 景観はもちろんのこと、市民の積極的な活用を想定した"オープンな公共空間"としての使いやすさにも留意した再整備を進める。 ■上諏訪駅西口広場 まちのエントランス空間として、市民や来街者など、すべての人が便利に楽しく、快適に利用できるデザインとマネジメント
関連計画	諏訪市地域公共 交通計画 (令和5年3月策定)	■諏訪市の公共交通が目 指す姿 市民生活とみんなを支え、み んなで育む諏訪市地域公共 交通の実現	■課題 高いマイカー需要と公共交通利用離れ 定時定路線方式と生活者ニーズとの乖離 公共交通に対する意識改善 交通弱者の不安(運転免許返納希望、送迎利用者) 既存公共交通利用者の利便性向上 利用者ニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築 観光来訪者への対応不足 環境への取り組み	■定時定路線にこだわらない柔軟な運行手法 各地域の地域特性や地域ニーズに合わせて、新たに AI オンデマンド交通の導入を検討する。 ■輸送目的、利用ターゲットを絞ったサービスの検討 (通勤対応、通院対応等) 既存のかりんちゃんバス等について、鉄道との接続状況を踏まえ、主な利用者層のニーズに合わせた見直し、再編を行う。 バス停に屋根やベンチの設置、企業・店舗等の待合所創設など、バス待ち環境の改善を図る。 ■既存公共交通の再構築 JR 上諏訪駅の、西口と東口のバス停を利用者の分かりやすさを考慮し、バス停の統一化を検討する。 ■観光二次交通の検討 主要な観光拠点と JR 上諏訪駅を結ぶ直行便の運行を検討する。

2. 広域的な交通インフラの現況整理

【上諏訪駅利用】

○特急あずさの全列車が停車、長野県第3位の主要観光地の駅として県内外の来訪者が利用

- ・県内第7位の乗降客数(7,156人/日)
- ・上諏訪温泉・諏訪湖は、軽井沢高原、善光寺に次いで、長野県主要観光地の延利用者数第3位(約360万人/年) ※出典:2023/令和5年長野県主要観光地の状況(観光地利用統計調査/長野県)
- ○定期利用率が高く、来訪者より近隣居住者(特に高校の通学や企業の通勤)が利用
 - ・近隣3駅(茅野駅・下諏訪駅・岡谷駅)の中で最も乗降客が多く、そのうち、定期利用の乗車人員が最も多い
 - ・特に隣駅である茅野駅は特急あずさが全列車停車する駅であり、上諏訪駅との役割分担に配慮

【中央本線沿線 特急停車状況】

【長野県内の駅別乗降客数】

【中央本線沿線 符思停里状况】	【長野児		样阵各致 】			
大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	順位	乗降客数 (人/日)	駅名	路線名	区分	事業者名
塩尻〇下諏訪地域	1	35,610	長野	信越線	JR	東日本旅客鉄道
及野県 第度		9,025	長野	長野線	民営	長野電鉄
信濃川原町台	2	30,663	松本	篠ノ井線	JR	東日本旅客鉄道
木曽甲沢・山 伊那新町	3	16,050	篠ノ井	信越線	JR	東日本旅客鉄道
東島井 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	4	8,836	上田	しなの鉄道線	三セク	しなの鉄道
第一個 (中部北) (中部北) 中野大東 (中部北) 中野大東 (中部北) 中野小東 (中部) 小淵沢 (中部) 中野小東 (中部) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5	7,376	軽井沢	北陸新幹線	新幹線	東日本旅客鉄道
木曾福島 第六名 宮田	6	7,224	塩尻	中央線	JR	東日本旅客鉄道
上松 しらび平 小可屋 割ケ根 小可屋 り 日野春	7	7,156	上諏訪	中央線	J R	東日本旅客鉄道
倉本 田田 1	8	6,350	茅野	中央線	JR	東日本旅客鉄道
・	9	5,310	小諸	しなの鉄道線	三セク	しなの鉄道
十二乘 伊斯大島 山梨市 温山	10	5,282	佐久平	小海線	JR	東日本旅客鉄道
製工でありの出 野田		五日市線 牛浜	THE WILL A	平無井門武術指揮	出典	2:国土数値情報
凡例	数馬 -	武蔵書の		正 祖 祖		
○ 全列車停車 新宿						
○ 多数の列車が停車						

【上諏訪駅及び周辺駅の利用状況】

一部の列車が停車

人口 R7/2 月時点	塩尻 塩尻市 65,086 人	岡谷 岡谷市 45,301 人	下諏訪 下諏訪町 18,393 人	上諏訪 諏訪市 46,964 人	茅野 茅野市 55,070 人	富士見 富士見町 14,076 人	小淵沢 山梨県北杜市 45,276 人
乗車人員	3,908 人	2,762 人	1,771人	3,829 人	3,352 人	838 人	1,382 人
上段:定期外	卜 1,501 人	983 人	494 人	1,238 人	1,401人	232 人	439 人
下段:定期	2,407 人	1,779 人	1,277 人	2,591 人	1,950 人	606 人	942 人
定期割合	÷ 62%	64%	72%	68%	58%	72%	72%

2023年/令和5年度乗車人員(出典: JR 東日本 HP)

上諏訪駅(諏訪市)

■まちの特徴

諏訪湖や湖畔に湧く「上諏訪温泉」をはじめ、霧ヶ峰、高島城や諏訪大社など、**自然と歴史に溢れるまち**

■駅利用状況

定期利用数から**高校生等の通学、通勤利用が多い**と想定 (人口:約47,000人高校:3校専門学校:3校)

茅野駅(茅野市)

■まちの特徴

八ヶ岳、白樺湖、蓼科高原、車山高原などの**観光地・リ ゾート地のまち**

■駅利用状況

観光地の玄関口であることから、**観光利用が多い**と想定 (人口:約55,000人 高校:2校 大学・専門学校:2校)

【自動車利用】

- ○諏訪湖スマートインターチェンジ開通(2025/令和7年夏頃予定)により、広域的なアクセスが向上
 - ・柳並線の開通(2021/令和3年度)、諏訪湖スマートインターチェンジ(2025/令和7年夏頃)開通予定、一般国道20号バイパス(整備時期未定)
- ■諏訪湖スマートインターチェンジ開通後のまちなか交通量の増加が懸念
- ・国道 20 号バイパスの開通時期未定のため、現国道 20 号の慢性的な交通渋滞が解消されないなか、諏訪湖スマートインターチェンジが開通後のまちなかの交通量増加が懸念

【広域的な道路ネットワークの整備状況】

■諏訪湖スマートインターチェンジ(SIC)

路線名	中央自動車道(諏訪 IC~岡谷 JCT 間)
開通予定	2025 (令和7) 年夏ごろ
整備効果	・諏訪市の観光地へのアクセス性向上による観光活性化
概要	・諏訪湖周サイクリングロードの玄関口としての役割を担う
	・精密工業として栄えてきた諏訪圏域にとって、諏訪湖スマートインターチェンジの整備によって住宅地や混
	雑を回避した輸送ルートの確立

■国道 20 号諏訪バイパス

路線名	一般国道 20 号 諏訪バイパス
開通予定	未定
整備効果	・現国道 20 号の慢性的な交通渋滞を解消
概要	・生活道路へう回する車を少なくすることで、生活道路が本来の機能を取り戻し、地域交通の安全性や道
	路環境(騒音、振動、排気ガスなど)を向上
	・豪雨や地震などの災害時には急患、物資の緊急輸送路として利用できることから、社会基盤としての整
	備をすることにより、災害に強いまちづくりも可能となる
	・中央自動車道などとのネットワーク化により、広域での文化交流や観光客の誘客、産業物流などが促進
	され 諏訪圏域の終会的が終済発展への効果も期待できる



【土地·建物利用状況】

○対象区域周辺は、様々な特性を持つエリアが存在。駅は、その中心となる場所に位置する

- ・対象区域周辺は、居住系の施設がまんべんなく立地するなかで、商業系の施設は対象区域の東側に多く立地
- ・線路を挟んで西側に温泉旅館や諏訪湖等の観光資源や公共施設が立地するエリア、東側にリノベーションされた商業施設や酒蔵、共同浴場、看板建築等の歴史を感じられる建物が多く立地するエリア等、特性あるエリアが対象区域を中心に分布

■観光資源となる施設が、駅を中心に分散立地しており、滞在や来訪の中心となるエリア が分かりにくい

温泉旅館や美術館等の観光資源が立地するエリア







国重要文化財に指定されている「片倉館」や美術館、温泉旅館などの大規模な施設や諏訪湖などの観光資源が多く立地している。それらの観光資源と駅を結ぶ柳並線は歩車道が共に広く整備されており、駅からのアクセス性は良好である。

福祉・文化等の公共施設が多く集中するエリア







諏訪湖イベントひろば(旧東洋バルブ跡地)

図書館、公民館などの地元住民の利用が主な公共施設が多数立地している。 老朽化が進む「諏訪市文化センター」では大規模改修に向けて検討委員会設置などの動きがみられる。

■周辺建物用途·施設立地状況図 業務施設 商業施設 遊戲施設 商業系用途複合施設 共同住宅 店舗併用住宅 作業所併用共同住宅 運輸倉庫施設 轻工業施設 家内工業施設 手長神社

商業・交流など多様な施設が集積するエリア





末広通り商店街



東口駅前の大型複合施設「すわっチャオ」の他、商店街など、小規模的な商業施設が多数立地している。商店街周辺では近年、リノベーション店舗の新規出店等の新たな動きもみられる。

昔ながらの歴史を感じる街なみや建物が残るエリア









地元住民向けの共同浴場や蔵が並ぶ路地、昔ながらの建物など、かっての歴史ある暮らしを感じることができるまちなみが残る。国道 20 号・旧街道沿いには小規模な業務施設が集積しており、看板建築や老舗酒蔵がみられる。

【道路状況】

- ○対象区域と主要な観光施設をつなぐ道路は広幅員で歩道が整備されている
- ・対象区域と諏訪湖をつなぐ柳並線、高島城をつなぐ並木通り、五蔵をつなぐ国道 20 号等は、広幅員で歩道を有する
- ○柳並線の開通により諏訪湖スマートインターチェンジからの西口駅前広場等での広域交通結節に期待
- ■市街地が線路により分断されており、東側の国道 20 号は踏切の影響もあり慢性的に渋滞
- ・国道 20 号は、第3甲州街道踏切で線路を横断しているため、慢性的な渋滞をひきおこしている
- ■市街地は歩道が整備されていない狭小幅員の道路(5.5m以下)が多い
- ○市街地には蔵や石垣等が残されており、ヒューマンスケールで趣きある道路も多い



【公園の立地状況】

- ○対象区域の 1km 圏内に市内外から人が訪れる湖畔公園(総合公園)、高島公園・立石公園(近 隣公園)が立地
- ○2024(令和 6)年、諏訪湖を一周する諏訪湖サイクリングロードが全線開通
- ○対象区域内には、音楽発表イベント等の利用もみられる柳並公園が立地
- ■特に対象区域の北西側は、地域住民の活用や交流に供する公園・オープンスペースが不足
- ・対象区域の東側や南側には児童遊園等のオープンスペースが立地しているが、街区公園(誘致圏 250m)・地区公園(誘致圏 1km)は対象区域の 1km 圏内には立地していない[※]ことから、特に対象区域の北西側を中心として、オープンスペースが不足



※児童遊園・都市緑地等に、街区公園の誘致圏 250m を適用。近隣公園の誘致圏:500m として作図

4. 対象区域の現況整理

○特性 ■問題点

2 長野地方 法務局

諏訪支局

柳並駐車場

月極駐車

【施設立地·利用状況】

- ■駅前広場、駅舎・駅関連施設、法務局の他は、駐車場(低未利用地)が区域面積の約 23%
 - ・区域内の土地所有者は、諏訪市・諏訪市土地開発公社・JR 東日本の 3 者のみで、駅前広場や駅舎・駅関連施設、 法務局の業務施設が立地する他、駐車場が区域面積の約23%を占める(5箇所/月極と時間貸含め360台)
- ■区域内の施設は、築年数が 20 年以上経過
- ○区域東側には、東西自由通路でつながる商業・公共等の複合施設「アーク諏訪」が立地
 - ・アーク諏訪は、スーパーマーケット「ツルヤ」を核に、クリニック等のテナントの他、公共施設として、駅前交流テラス「すわっチャ オ」が入居。「すわっチャオ」には、イベントスペースやキッズコーナー、学習室等があり、様々な用途をもつ施設が駅前に立地

【対象区域の駐車場の利用状況】 西口 154 台(月極 115 台/時間貸 39 台) 東口 206 台(月極 52 台/時間貸 154 台)

		名称	台数	形態	運営	料金	利用状況	
対象区域内東口		西口駐車場 (月極)	67台	平面	諏訪市土地開発公社	_	・62 台貸付中(R6/12 まで)	
		柳並駐車場 (月極+ 時間貸)	民間施設の情報が含まれるため非公表					
			154 台 ※二輪車不可	立体	諏訪市	3 時間まで無料 以降 1 時間まで 180 円 その後 30 分毎に 90 円加算	・平日 9 時台〜16 時台の入数が 多く、駐車時間は 1〜2.5 時間。 1 日平均稼働率は 約 20%	
	I	東口月極駐車場 (月極)	民間施設の情報が含まれるため非公表					
近隣		アーク諏訪駐車場 (月極+ 時間貸)	民間施設の情報が含まれるため非公表					

【対象区域の施設立地状況】

①西口駐車場(月極)

<u> </u>	©						
	敷地面積	約 2,000 ㎡					
土地	所有者	諏訪市土地 開発公社					

②長野地方法務局諏訪支局

	敷地面積	約 2,500 ㎡
±	所有者	・諏訪市
迊		•諏訪市土地
		開発公社
	延床面積	1,577.80 m
	所有者	長野地方法務局
建	構造	鉄骨造
建物	階数	2 階
	建築年	2004(平成 16)年
	築年数	21年

③西口駅前広場

+	敷地面積	約 3,500 ㎡
地	所有者	諏訪市

4)上諏訪駅諏訪湖口自転車駐車場

+	敷地面積	約 500 ㎡
地	所有者	諏訪市

⑤柳並駐車場(時間貸+月極)

	敷地面積	約 2,200 ㎡
土地	所有者	諏訪市土地 開発公社

⑥上諏訪保線技術センター

<u></u>				
+	敷地面積	約 6,000 ㎡		
土地	所有者	JR 東日本		
	延床面積	1,851.8 m		
	所有者	JR 東日本		
建	構造	鉄筋コンクリート造		
物	階数	4 階		
	建築年	1982 (昭和57) 年		
	築年数	43年		

⑦柳並公園(都市緑地)

	敷地面積	625 m ²		
土	所有者	諏訪市		
地	開設年	1992(平成4)年		
	経過年数	33年		

緑豊かな柳並公園



砂利敷の西口駐車場





柳並線と繋がる西口駅前広場



駅前広場に面する屋外駐輪場



稼働率が高い柳並駐車場



JR 所有の保線技術センター



⑧市営駅前駐車場(時間貸/立体駐車場)

	±	敷地面積	約 2,100 ㎡
	地	所有者	諏訪市
		延床面積	3,995.99 m
		所有者	諏訪市
3	建	構造	鉄骨造
į	勿	階数	3階
		建築年	1993 (平成5) 年
		築年数	32年



築年数 (2025 年基準) 0~14年経過 15~24年経過

25~34年経過

基本構想範囲 車道

歩道等 自由通路・歩道橋 公園

駐車場 立体駐車場

35 年以上経過(昭和 57 以降 _ 新耐震) 35 年以上経過 (昭和 56 以前 _ 旧耐震)

市営の立体駐車場

⑨駅前交番

店干	敷地面積	約 100 ㎡
	所有者	諏訪市
	延床面積	不明
7.51	所有者	長野県
建物	構造	非木造
物	階数	3 階
	築年数	不明



駅前広場に隣接する交番

⑩上諏訪駅舎 敷地面積 約 1,700 ㎡ JR 東日本 延床面積 1,015.03 ㎡ JR 東日本 所有者 木造一部鉄骨造 構造

部分的に改修された駅舎

1950 (昭和25) 年

①東口駅前広場

階数

建築年

築年数

立体駐車場

+	敷地面積	約 1,900 ㎡
地	所有者	JR 東日本

2 階

75年

大部分师震補銷

JR 所有の東口駅前広場

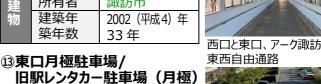
②上諏訪駅前自由通路

	延床面積	304 m
建	所有者	諏訪市
物	建築年	2002 (平成4) 年
	築年数	33年

敷地面積 | 約 1,700 ㎡

JR 所有の月極駐車場

所有者 JR 東日本



西口と東口、アーク諏訪を結ぶ





登記簿情報 令和 3 年度都市計画基礎調查 諏訪市公園施設長寿命化計画 諏訪市公共施設等総合管理計画 JR 提供資料 (諏訪市から) 国土交通省 HP

※敷地面積は、令和3年度都市 計画基礎調査または CAD 計測

【駅舎等及び駅前広場の機能】

- ■東口駅前広場(約 1,900 m) と西口駅前広場(約 3,500 m)で約 2 倍の差があり、それぞれタクシー乗降場、一般車駐車場が ある一方、バス乗降場や環境空間は西口のみ
- ・東口は、鉄道と国道 20 号間の狭い空間に駅舎と駅前広場があり、駅前広場は交通空間のみである。西口は、東口より駅前広場が広く、バス乗降場や水飲み場、 噴水、ベンチ、街路樹等の環境空間が設けられている。東西ともに、バス待機場、送迎等のための一般車乗降場が無く、主要な観光施設への案内等も不足
- ■東口に駅改札口があることから、駅関連施設や店舗や観光案内所等が設けられており、面積規模に対して施設規模、機能が偏り
- ・東口は西口より面積が狭いが、改札口があることから、駅関連施設の他、店舗や観光案内所、レンタサイクル案内所等の観光系施設が設けられている。

■駅南の自由通路のみが東西を結ぶ

・東西連絡は自由通路しかなく、東西のアクセスが乏しい。自由通路は複合施設「アーク諏訪」とも連絡しており、西口から施設への利便性は良い。

施設・機能 規模 交 バス乗降場・待合所 1 箇所 (11 路線) タクシー乗降場 2 台 空間 一般車駐車場 6 台程度(目視調査) 環 水飲み場・噴水 境 ベンチ 街路樹	【西口	【西口広場の施設・機能】 約 3,500 ㎡					
通空間 タクシー乗降場 2台 一般車駐車場 6台程度(目視調査)	施設·機能		規模				
	交	バス乗降場・待合所	1 箇所(11 路線)				
	通	タクシー乗降場	2台				
環 水飲み場・噴水 境 ベンチ 街路樹	iii	一般車駐車場	6 台程度(目視調査)				
空間公衆トイレ等	環境空間	ベンチ、街路樹					



公衆トイレ







バス乗降場・待合所







自由通路 東西を結ぶ自由通路

【東口広場の施設・機能】

約 1.900 ㎡

施設·機能規模			
赤	タクシー乗降場	3台	
交通空間	タクシー待機場	6台	
	一般車駐車場	9台	
間	レンタカー駐車場	3台	

※国道 20 号上にバス乗降場





一般車駐車場 利用率が高い駐車場



レンタカー駐車場



東ロバス乗降場 国道 20 号上のバス乗降場



【駅舎等の主な施設・機能】



朝夕は、多くの高校生の姿が見られる



改札口に併設された「待合室」 平日、土日ともに待合室は 多くの利用者の姿が見られる



店舗/販売・飲食店「たまごや工房」

運営:有限会社名取鶏卵(諏訪市) 信州諏訪の特産品を販売しているため、カフェを含め、観光客利用が多い



諏訪市観光案内所

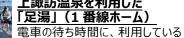
運営:一般社団法人諏訪観光協会 観光案内所の他、お土産等の物産も販売しており、観光客の姿が見られる





レンタサイクル案内所

電動自転車 1 時間: 1,000円



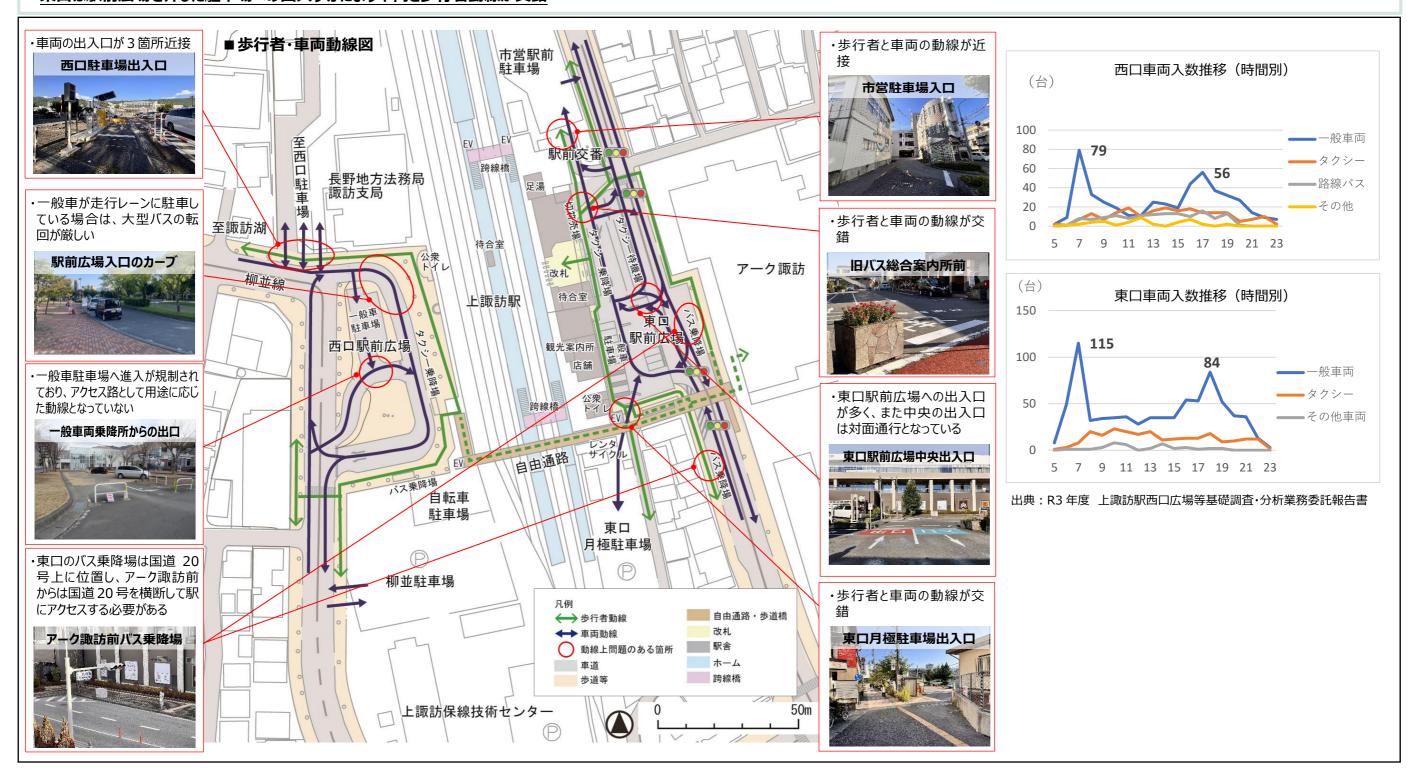
姿が見られる

※上諏訪駅前バス総合案内所(2024/令和6年9月閉所)

【駅前広場の動線】

- ■西口駅前広場は、基本的には歩行者と車両の動線は分離されているが、広場への車両入口付近で、 隣接3敷地の出入口と交錯
- ・法務局・西口駐車場・JR 東日本所有地への出入口で、歩行者と車両の動線が交錯
- ■東口駅前広場は車両の出入口が複数あり、また中央出入口が対面通行になっている等、車両動線が複雑
- ・東口は車両の出口と入口がそれぞれ2箇所(駅前広場南側・中央・北側)あり、車両動線が複雑
- ■東口は駅前広場を介した駐車場への出入り等により車両と歩行者動線が交錯

- ■東口のバス乗降場は国道 20 号上に位置し、アーク諏訪前のバス停からは国道 20 号を横断して 駅にアクセスする必要がある
- 東西の朝夕のピーク時の車両入数を比較すると、規模の小さい東口駅前広場には、西口の約 1.5 倍の車両入数がみられ、規模と車両入数がアンバランス
- ・東口駅前広場(約1,900㎡)と西口駅前広場(約3,500㎡)の規模と車両入数がアンバランス



【バス・デマンド交通利用状況】

- ○市内には「高速バス (2 路線) 」、「路線バス (12 路線) 」、「デマンド交通 (3 種) 」があり、市民の生活 ■バス乗降場が西口と東口に分かれており、分かりにくい の足となる市内循環を含め、路線が多数
 - ・路線バスは、市が運営する市内循環バス「かりんちゃんバス」が10路線、民間運営が2路線あるとともに、3種のデマンド交通が 運行。そのうち 1 種は AI による運行調整を行い、2025(令和 7)年 10 月から本格運行予定であり、充実が図られている。
- ○路線バスは、「路線バス(茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷線) (29 便) 」の便数、利用数が多い
 - ・茅野駅、上諏訪駅、下諏訪駅、岡谷駅の4駅を結ぶ路線は、1路線であるが、便数が多く、利用率も全体の36%※と高い。 次いで、諏訪湖スワンバスも2路線で利用率が25%※となっている。 ※令和3年度の路線バス等の利用率

- ・駅には高速バス、路線バス、デマンド交通があり、西口バス乗降場は 10 路線 62 便、東口バス乗降場は 6 路線(+ 臨時 2 路線)81 便が停 車する。多くの路線、便数があるが、バス乗降場が東西に分かれているとともに、案内サイン等の不足により、乗降場が分かりにくい。
- ○東西を比較すると、一日を通して西口の乗降客数が多い 朝は東西ともに降車が多く、電車利用の通勤・通学と考えられる
 - ・1 日あたりの駅バス停利用は、東西を比較すると東口(149人)西口(255人)と西口の乗降客数が多く、朝は7時台 が東西ともに降車が多く、電車利用の通勤・通学と考えられる。

【バス概要】

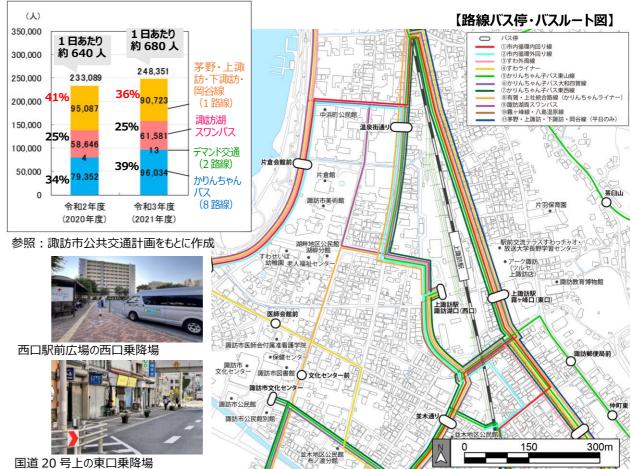
種別		路線名		運営(運行事業者)	便数 (1日)	西口	東口	運行ルート概要	料金
高速バ	茅	野・諏訪・岡谷〜新宿線	Į.	アルピコ交通㈱、京王バス㈱、 JR バス関東㈱、フジエクスプレス ㈱、山梨交通㈱	23 便		•	岡谷駅〜上諏訪駅〜バス タ新宿(中央道から諏訪 ICを経由)	片道 3,800 円~
ス	茅	野・諏訪・岡谷~京都・ス	大阪線	アルピコ交通(株)	全便運休中	_	_	_	_
		①かりんちゃんバス市内循環内回り線		調訪市(アルピコ交通㈱)	7便 6時台~19時台		•		
		②かりんちゃんバス市内循環外回り線		諏訪市(アルピコ交通㈱)	6便 6時台~19時台	•	_		
	+ /	③すわ外周線		諏訪市(アルピコ交通㈱)	3 便 10 時台~17 時台	•	_		
	かりんちゃんバス	④すわライナー		諏訪市(アルピコ交通㈱)	3 便 7 時台~19 時台	•	•	市内循環	大人 150 円
	つゃん:	⑤かりんちゃん子バス 東山線		諏訪市 (諏訪交通㈱)	8 便 8 時台~19 時台	•	— 1 便停		子ども 80 円
n.		⑥かりんちゃん子バス大和四賀線		諏訪市(第一交通㈱、諏訪交 通㈱、アルピコタクシー㈱)	8 時台~18 時台	_	•		※1 日乗車券 大人 300 円
路線バ	諏訪市	⑦かりんちゃん子バス 東西線		諏訪市 (諏訪交通㈱)	7便 7時台~19時台	•	- 2 便停		子ども 150 円
ス		⑧有賀・上社統合路絡(かりんちゃんライナー)	泉	諏訪市 (アルピコ交通㈱)	11 便 6 時台~20 時台	•	•		
		9諏訪湖周	内回り	諏訪市・下諏訪町・岡谷市 (JR バス関東㈱)	7便 7時台~19時台	•		諏訪湖周辺を周遊	
		スワンバス	外回り	諏訪市・下諏訪町・岡谷市 (諏訪交通㈱)	7便 7時19時台	•	_	(諏訪圏 3 駅を経由)	
	民	茅野・上諏訪・下諏 線	訪·岡谷	アルピコ交通(株)	29 便 ※ 平日のみ運行 6 時台〜20 時台		•	諏訪圏 4 駅を経由 (主に国道 20 号を走行)	150 円~930 円
	民間バス	霧ケ峰線・八島湿原総	R	アルピコ交通㈱	6 便 (3 往復) ※4~10 月運行 夏休み中は毎日運行、 他は土日祝のみ	•	_	霧ケ峰方面への 観光バス	300 円~1,500 円
デ		有賀峠デマンド交通		諏訪市(第一交通㈱、諏訪交 通㈱、アルピコタクシー㈱)	4 便 ※平日のみ運行 ※事前予約必要	l		西友諏訪湖店から上野・覗 山・後山・板沢方面を結ぶ (決まったルートを運行)	市民パスポート持参の場合 150 円 150円~1,060円
デマンド交诵	諏訪市	霧ケ峰デマンド交通		諏訪市(第一交通㈱、諏訪交 通㈱、アルピコタクシー㈱)	4 便 ※平日のみ運行 ※事前予約必要	•	_	上諏訪駅から霧ヶ峰農場 方面を結ぶ (決まったルートを運行)	市民パスポート持参 の場合 150 円 320円~1,440円
通		チョイソコかりんちゃん		諏訪市(第一交通㈱、諏訪交 通㈱、アルピコタクシー㈱)	※平日のみ運行※事前予約必要8時~16時	*	*	決まった時刻表や路線はない (予約にあわせて運行)	大人 500 円 子ども 250 円

参照:諏訪市公共交通計画、諏訪市 HP をもとに作成

・2024 (令和 6) 年 10 月から試験運行

・2025 (令和 7) 年 10 月から本格運行予定

【路線バス等の利用状況】



【上諏訪駅バス乗降場の1日あたりの乗降客数】



出典: R3 年度 上諏訪駅西口広場等基礎調查·分析業務委託報告書

5. 市民意向の整理

【駅に求める機能についてのパネルアンケート】

象:休日・日中の西口歩行者 実施概要 ① 対

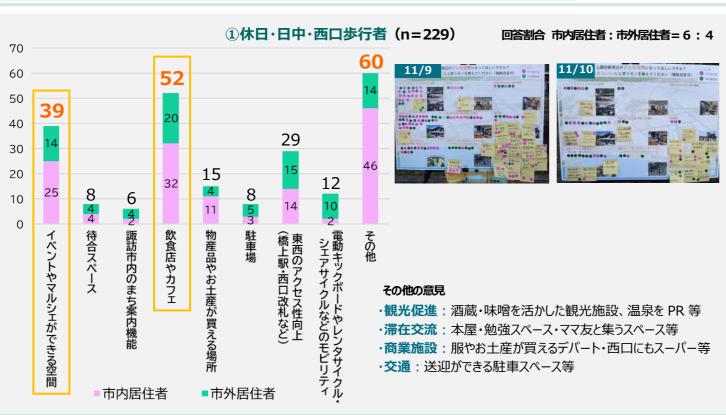
実施日時:2024(令和6)年11月9日(土)、10日(日)

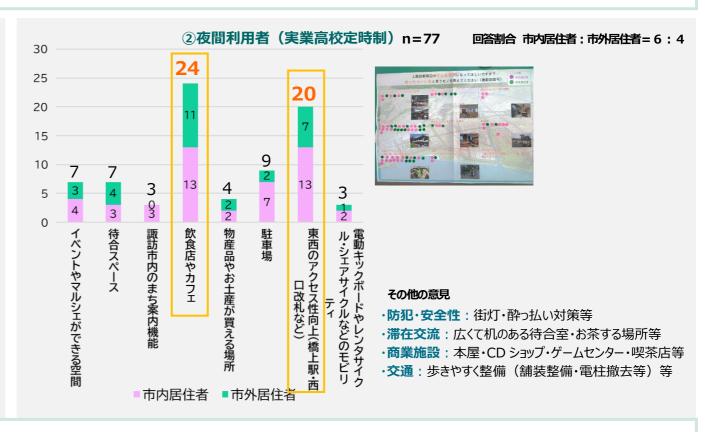
象:駅周辺の夜間利用者(諏訪実業高校定時制の生徒)

実施日時: 2024(令和6)年12月



- 実施結果 ・両方の対象者に共通して、上諏訪駅周辺には、「飲食店やカフェ」を求める声が多い
 - ・休日・日中の西口歩行者は、「イベントやマルシェができる空間」が 2 番目に多く、その他では観光促進や滞在交流施設 等といった意見がみられた
 - ・夜間利用者は、「東西のアクセス性向上」が2番目に多く、その他では駅周辺の防犯・安全性向上も必要としている





【駅周辺の利用や整備に関する意向把握アンケート】

実施概要 実施日: 2021 (令和3) 年10月25日~11月15日

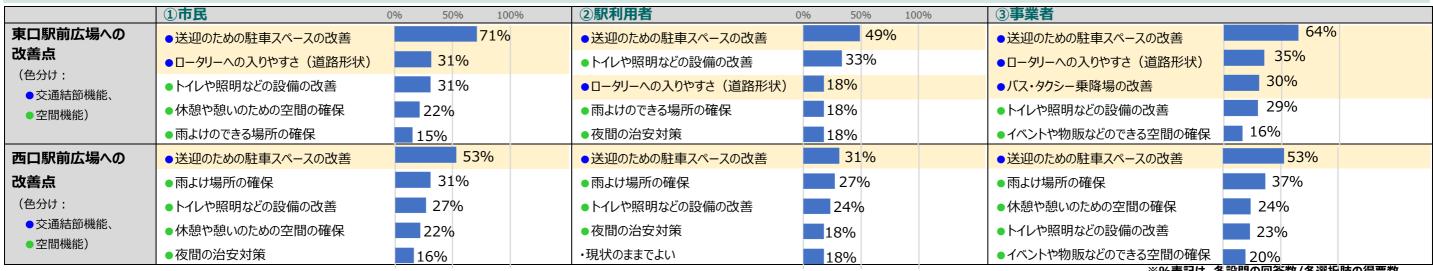
方 法:無作為抽出した市民 2,000 件へ発送し郵送回収、回収数:792件 ① 対 象:市民

2 対 象:駅利用者 方 法:改札近辺で200件手渡し配布後郵送による回収、回収数:51件

③ 対 象:事業者 方 法:交通・観光・商業事業者 200 件へ発送し郵送回収、回収数:112件

実施結果・東口西口共に、市民・駅利用者・事業者全アンケートにおいて、「送迎のための駐車スペースの改善」が最も多い

- ・東口においては、3番目までに「ロータリーの入りやすさ」、事業者アンケートでは「バス・タクシー乗降場の改善」が入っ ており、交通結節機能の改善が求められている
- ・西口においては、2 番目以降は「雨よけ場所の確保」「トイレや照明などの設備の改善」「夜間の治安対策」「休憩 や憩いのための空間の確保」が多く、空間機能としての改善が求められている



【第1回上諏訪駅周辺のミライを考えるワークショップ】

実施概要

・実施目的:駅周辺地区の望ましい姿等の検討に向けて、市民等が考える駅周辺地区の望ましい姿とそのために必要モノ・コト・シーン等の意見聴取、駅周辺

地区についての興味喚起・キックオフの発信

時:2025(令和 7)年 1 月 11 日(土)14:00~17:00、場所:駅前交流テラス すわっチャオ

·参加者数:42名

・内 容:・対象区域の現況についての情報共有

・グループワークショップ(7グループに分かれて意見交換)

・テーマ 1 「駅周辺の好きなところ、困っていること」

・テーマ2「駅周辺を○○のような場所にしたい。だから、こんな光景・空間・機能があるといい」





テーマ1:駅周辺の好きなところ、困っていること ●好きなところ ●困っているところ 市営駐車場が3時間無料良い ● 歩道橋やアーク諏訪3階、市営駐 場屋上、改札口、ホームからの景色 市営駐車場分かりづらく、時間も短くて使 柳並線の向こうに諏訪湖への眺め 見通しが良い あずさ利用者が500円で利用できる駐車 • 法務局から見る駅の風景 場がなくなった ● 東口から諏訪湖方面が見えない 東口駅前広場 ● 東口駅前広場の送迎スペースが少ない 西口駅前広場 バイク、大型バスの駐車スペースが無い 西口は広くてゆったり • バス・タクシー乗り場があ り便利 駅施設 西口ロータリーが狭い ● 駅舎が古い • 西口駅前広場が有効活 ● ホームの横断橋が狭く階段も使いづらい 用されていない ● 西口改札の設置 ● 駐輪場が狭い 自由通路 エレベーターがあるのが良い アクセス 自由通路が古く汚い 柳並線が整備され、西口 から諏訪湖へのアクセス は良い

● 自由通路が歩行機能のみでつまらない

- 沿道にお店が並んでいる笠森小路の雰囲 気がいい
- 昔ながらの店舗や飲食店があって楽しい
- 東口や国道沿いの歩道が狭く歩きづらい
- 国道を横断しづらい

眺望・景観を活かす

● 他にはない諏訪が誇れる場所である諏訪湖や山並の眺望景観 を活かしたい。

温泉を活かした場所やしくみ

- 諏訪と言えば温泉。誰でも楽しめる温泉を活用したい。
- 温泉熱をエネルギーとして活用してはどうか。

空間機能

- 駅に足湯がある
- お土産が買える
- 交番が隣にあって安全
- 案内板や地図が少なく分かりづらい
- 楽しめる・ワクワクできる場所がない
- 統一感や特徴がない
- 電車の待合スペースが狭く、時間をつぶ せる場所も少ない
- 勉強スペースが足りない、若者の居場所
- スケボーをすると怒られる
- トイレが狭くて汚い
- 周辺が暗くて不安
- 気軽に寄れる飲食店・お土産屋が少ない
- ゆっくりできるベンチが少ない

テーマ2:駅周辺を○○のような場所にしたい。だから、こんな光景・空間・機能があるといい

対象区域のまちづくりの考え方・コンセプト・めざす姿(案)

● バス乗り場が東西に分かれていて分かりづらい

● 暑さ、寒さをしのげるタクシーの待合場が欲しい

● 駅と観光地等を結ぶシャトルバスがあるとよい

■ 電車・バス・レンタカーとの連携がよくない

人と諏訪(まちなか、活動、資源、交通)をつなぐ場 ・ 諏訪の玄関として諏訪がひとつになれる場所

駅利用者だけでなく、

交通結節機能

● 大型バス停留所がない

誰もが気軽に立ち寄れる・居られる・使える場所

めざすべきシーン・空間・機能 等

自由に使え、使いやすい広場・憩いの空間

- 待ち時間も有効に活用できる自由で使いやすい広場空間をつ くり、災害時にも活用できるようにしたい。
- 使い方のシーンとしては、集う、のんびりする、イベント、遊ぶ、 農園、勉強する等。

交通結節しやすい駅

移動しやすい東西

● 大型バスもアクセスできる駅前広場にしたい。

頭に、多目的に使えるようにしたい。

● 二次交通とのスムーズな結節ができるようにしたい。(送迎用 の駐車スペース、レンタサイクル、キックボード等)

人が回遊しやすい交通のハブとなる場所

● 駅の西側からも改札ヘアクセスできるようにしたい。 (駅の

● 広い橋上スペースをつくり、通行だけでなく、稼げることも念

おもてなしの設え

- まちのコンシェルジュとして機能させたい。
- 諏訪の魅力や活動についての情報発信や案内をしっかりし
- キレイなトイレと暖かい待合室が必要。

● 空間・雰囲気が良い

改札から西口へアクセス

• 駅周辺は渋滞しやすい

しづらい

● 鳥の糞等で汚い

並木通り・柳並公園

並木通りで食べ歩きできない。

その他まちなかの好きなところ

- すわっチャオ、ツルヤ便利
- 徒歩圏内にスーパー、病院、飲み屋等色々ある 駅西側は夏の祭りの中心である
- まちなかを歩いて回れる
- リノベーション店舗が増えた
- 石彫公園、ちょっと時間を過ごすのによい。
- 片倉館、他にはない資源

多道等 自由通路・多道模 公開 基本模型範囲

- 東側の山間部は少し高級リゾート感もある
- 自然石の池(以前は温泉が出ていた)

6. 整備基本構想検討にあたり必要な視点の整理

前項までの現況の特性と問題点を踏まえ、整備基本構想検討にあたり必要な視点を整理する。 特性(活用すべき視点) 問題点(改善すべき視点) 【駅利用】 ▶上諏訪駅は、長野県第3位の主要観光地の駅として 「県内外の来訪者」や、定期利用率が高いことから「高 校生等の通学・通勤者」利用が想定 【立地】 【立地】 ▶区域周辺は、「住宅」をメインに、徒歩圏内に「諏訪湖 ▶「諏訪湖」「上諏訪温泉」の他、高島公園(高島城 (湖畔公園、湖畔サイクリングロード) 」や「上諏訪温泉」を 跡) や昔ながらの歴史を感じる街なみや酒蔵等の観光 はじめとする「観光施設・資源」の他、「歴史、商業施 施設・資源が駅から徒歩圏に分散立地するなかで、 設」等の「様々な特性をもつエリア」をもつ 滞在や来訪の中心となるエリアが分かり難い ▶区域は、「様々な特性を持つエリア」をつなぐ中心に位置 ▶区域東側には、東西自由通路が連絡する商業・公共 等の複合施設「アーク諏訪」が立地 必要な視点 観光施設・資源や各エリアを結ぶ「まちの中心」、「多様な人が集まる拠点」としての役割 【自動車ネットワーク】 【自動車ネットワーク】 ▶広域的な道路ネットワークの整備により諏訪湖スマートイ ▶諏訪湖スマートインターチェンジ開通後のまちなか自 ンターチェンジから駅までの自動車のアクセス性向上 動車交通量の増加が懸念 【歩行者ネットワーク】 【歩行者ネットワーク】 ▶区域周辺は、歴史的な道路やヒューマンスケールで趣 ▶ウォーカブルを推進するなか、駅から特徴ある周辺エリ アへのアクセス動線が不明瞭 きある道路も多い 必要な視点 広域的な「交通結節点」としての役割の他、市街地への安全でスムーズな誘導や、回遊の起点となる役割 【土地利用】 【土地利用】 ▶区域内の土地は、公的な機関3者(諏訪市・土地開 ▶駅前広場、駅舎・駅関連施設、法務局の他は、区域 発公社・JR 東日本)が所有しており、土地の有効活 面積約 23%が駐車場で低未利用となっている 用がしやすい 【機能】 利用 【機能】 ▶地域住民に身近な公園、オープンスペースが不足 ▶区域内に緑豊かで、市民活動で活用される柳並公園 ▶公民連携による活動が推進されるなか、市民ニーズが高 が立地 い自由に活用可能な空間や交流に供する空間が不足 必要な視点 土地の有効活用を図り、市民が求める多様な使い方が可能な空間の確保 ▶鉄道により東西が分断されており、東西で施設規模、 機能に偏りがある ▶東口は、朝夕の一般送迎が多く、自動車、歩行者とも に交通量が多く、交錯が見られる 交通 ▶西口に改札口がなく、東西連絡は改札外の東西自由 施設 通路のみであるため**東西のアクセスが不便** 必要な視点 交通事業者と連携強化を図り、東西敷地規模を考慮した適正な機能配置、アクセス改善 ▶諏訪の魅力の情報発信や案内の不足 ▶諏訪市民が誇る「諏訪湖」や「山なみ」への眺望景観 ▶柳並公園を中心に区域全体の鳥のフンによる、衛生 ▶徒歩圏内に「諏訪湖」や「上諏訪温泉」をはじめとする 的、景観的な問題

市民が誇る諏訪の魅力(諏訪湖、温泉、歴史・自然資源)を活かすとともに、情報発信や適切な維持管理



「観光施設・資源」が立地(再掲)

必要な視点

資源

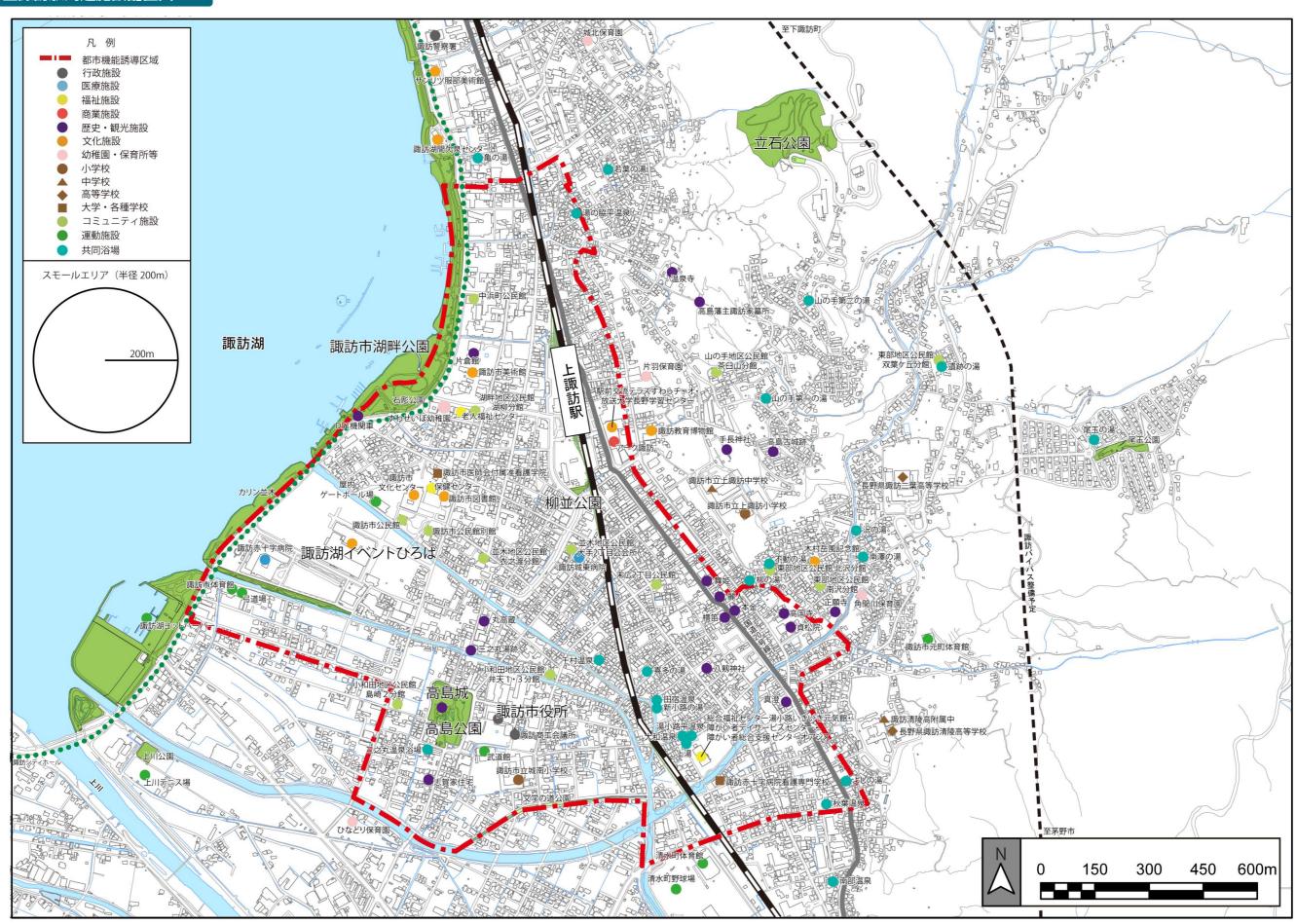
諏訪市上諏訪駅周辺地区整備基本構想 検討委員会(第一回)

IV. 参考

- ・ 「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」における 現況把握一抜粋一
- 諏訪都市計画図
- ・ 上諏訪駅周辺の主な変遷



上諏訪駅周辺施設配置図



人口

・諏訪市の人口は、2000 年をピークに、今後減少傾向にあり、 2020年時点の人口(48,729人)は、1970年時点と同 等程度

- ・諏訪市は、比較都市の中では人口減少のスピードが最も緩やか
- ・諏訪市の人口は、2045年には38,472人、2020年の約79% と推計

2045 年人口比



(基準年 2020 年) 日光市 80,000 59% 60.000 渋川市 63% 30,000 熱海市 2015年 2020年 2025年 2030年 2035年 2040年 2045年 → 諏訪市 → 執海市 → 渋川市 → 日光市 62%

※2015・2020 年人口は国勢調査 ※2020年以前の人口は国勢調査 1945 年の国勢調査は未実施

■他都市の将来人口推計

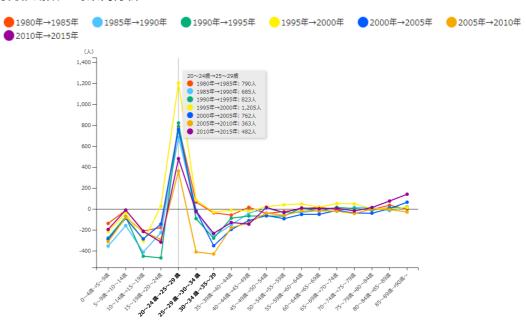
出典:国勢調査 2020,将来人口推計値_国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」2018

出典: 国勢調査 2020,将来人口推計値_国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人

人口

- ・就職の時期(20~24 歳が 25 歳~29 歳になる 5 年間)に諏訪市への転入が転出を大きく上回る
- ・進学期と出産・子育て期の30代の流出増が顕著

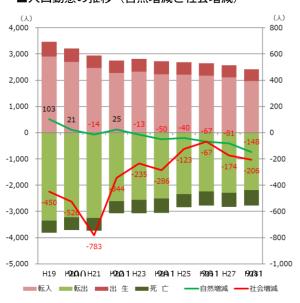
■年齢階級別純移動数の時系列分析



出典: RESAS

人口

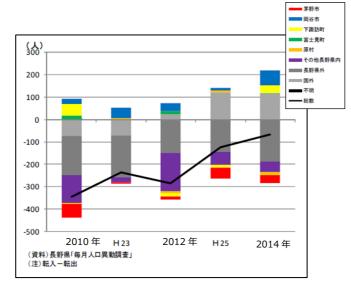
- ・自然増減は、減少傾向
- ・人口増減は、自然増減よりも社会増減の影響が大きい
- ■人口動態の推移(自然増減と社会増減)



出典: 諏訪市の統計 (H28), 資料: 長野県「毎月人口異動調査」より作成

2014年には岡谷市(約60人)や下諏訪町(約20 人)、国外(100人以上)からの転入が多くなっている。しか し、茅野市などの長野県内の市町村や長野県外への転出が 転入を上回っている

■転入・転出の推移(2010-2014)

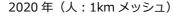


出典:諏訪市人口ビジョン,資料:長野県「毎月人口異動調査」

人口

- ・約 20 年後 (2040 年) には、上諏訪駅周辺を含むエリア (1km メッシュ) は人口が減少
- ■人口メッシュの変化(2020年・2040年)







2040年(人:1km メッシュ)

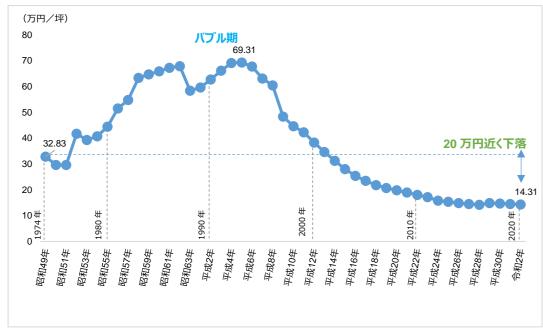
出典: RESAS

経済

産業全般

- ・市内公示地価平均坪単価(全用途)は、70万円近くまで上昇したが、その後下落
- ・1974 年からは、20 万円近く下落

■公示地価推移



出典:諏訪市の統計 (H28),資料:長野県「毎月人口異動調査」より作成

経済

- ・財政力指数(0.74:2020年度)が比較的高いが、1を割っている
- ・将来負担比率が近隣自治体の中では比較的高く、将来財政を圧迫する可能性が高い

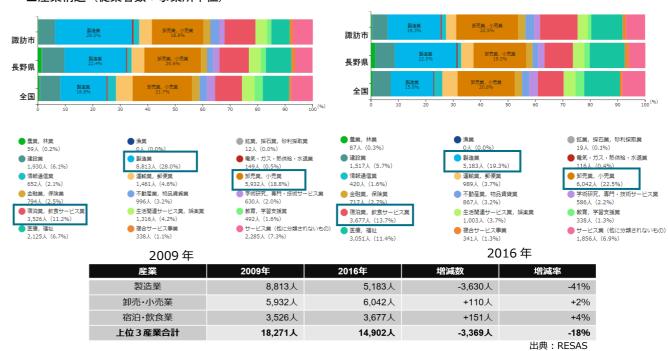
■財政偏差比較(近隣自治体との比較)

→ 諏訪市 → 茅野市 → 岡谷市 → 下諏訪町 → 原村 → 富士見町 → 塩尻市 → 松本市 — 長野県平均 ■財政力指数 財政力指数 市民一人当たりの税収額(千円) 経常収支比率(%) 固定資産税(市町村税)(千円) 実質公債費比率(%) - 諏訪市 類似団体内の 最大値及び最小値 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 市町村民税(千円) 将来負担比率(%) ※財政力指数: 財政力指数が高いほど、普通交付 税算定上の留保財源が大きいこと 市民一人当たりの歳出額 になり、財源に余裕があるといえ (人口当たりの公共施設等の維持・管 一人あたり歳入額 理・更新費(千円)) ※将来負担比率: 地方公共団体の一般会計等の借入 金(地方債)や将来支払っていく 可能性のある負担等の現時点での 歳出決算総額 土木費 残高を指標化し、将来財政を圧迫 (市町村財政) (千円) する可能性の度合いを示す指標 ※類似団体: 人口及び産業構造等により全国の 維持補修費 (1) 街路費 市町村を35グループに分類し、諏 訪市と同じグループに属する市町 (2) 公園費

出典:令和2年度財政状況資料集より作成,総務省HP「財政状況資料集の説明」

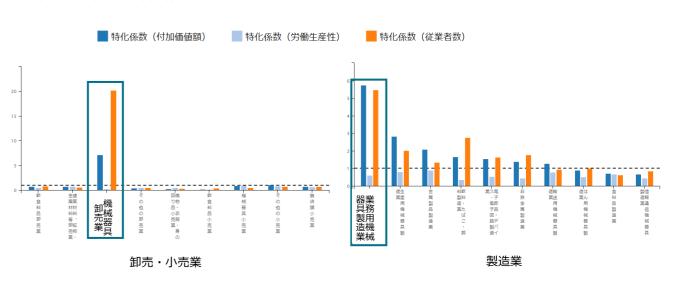
- ・2016年の上位3産業の従業者数は、2009年から約18%減少
- ・特に製造業従業者数が41%減少し、全産業に占める従業者数割合が卸売・小売業と逆転

■産業構造(従業者数:事業所単位)



産業全般

- ・卸売・小売業では、機械器具卸売業、製造業では業務用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、金属製品製造業などの値が高いことから、ものづくり産業が市の特性
- ■財政偏差比較(近隣自治体との比較)



※特化係数:域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。

出典:RESAS

産業全般

観光

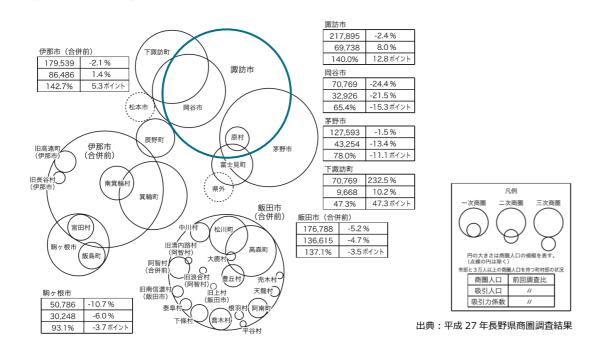
- ・従業者一人当たり三次産業売上は、松本市に次ぐ2位
- ・製造品出荷額は、ほぼ長野県平均であり、近隣自治体の中で5位

■産業偏差比較(近隣自治体との比較)



商業

- ・諏訪市の商圏は、岡谷市、茅野市、下諏訪町など諏訪地域に広く、小売吸引力が高い
- ■南信地区の商圏構造 《全品目平均》 (2019)



- ・市内観光客数は減少傾向だが、外国人宿泊客数は増加傾向
- ・観光客のうち宿泊客は10%程度、8月が繁忙期

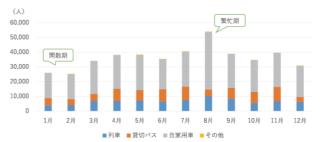
■観光客入込数・観光消費額の推移



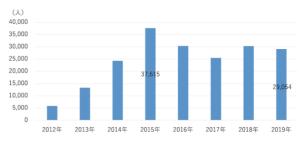
■観光客入込数・観光消費額の推移



■令和元年度上諏訪温泉宿泊客数



■諏訪市外国人宿泊客数の推移

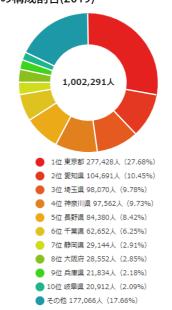


出典:諏訪市観光グランドデザイン,資料:諏訪市観光動態要覧,諏訪地方観光連盟インバウンド実績

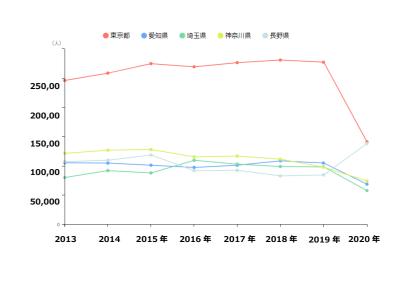
観光

・南関東(東京・埼玉・神奈川・千葉)、東海、長野県からの宿泊者が多く、広範囲からの集客が可能

■居住都道府県別延べ宿泊者数 (日本人)の構成割合(2019)



■居住都道府県別延べ宿泊者数(日本人)の推移

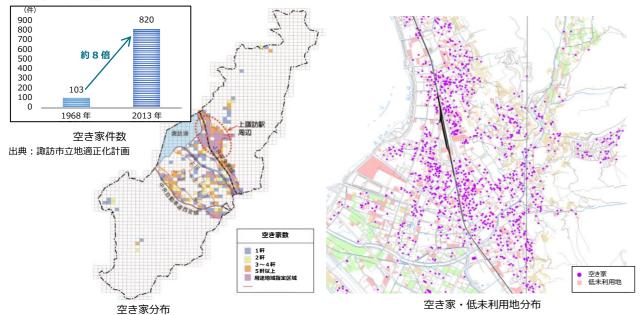


出典:諏訪市観光グランドデザイン,資料:諏訪市観光動態要覧,諏訪地方観光連盟インバウンド実績

安全·安心

- ・空き家は、特に上諏訪駅周辺に集中しており、250m メッシュ内に 5 軒以上存在している箇所が多く、空き家密度が高い
- ・空き地・低未利用地についても、駅周辺に多く点在しており、中心部の人口流出やそれに伴う市街地の空洞化が進み、地域コミュニティの維持や防犯、景観などに問題が生じるおそれがある
- ・1968年~2013年で、市内の空き家は8倍近く増加

■空き家・低未利用地分布



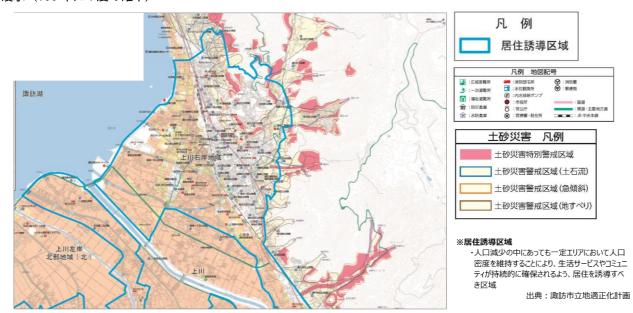
出典:諏訪市立地適正化計画

出典:空き地:都市計画基礎調査、空き家:市提供データを基に作成

安全·安心

・駅周辺の居住誘導区域の多くのエリアが浸水深 3.0m未満の浸水想定区域に入っている

■浸水(100年に1度の確率)



出典: 諏訪市マルチハザードマップ 2022、諏訪市立地適正化計画をもとに作成

安全·安心

・駅東側(上諏訪小中学校周辺など)には、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が複数指定されている

■観光客入込数・観光消費額の推移



出典:諏訪市マルチハザードマップ 2022

安全·安心

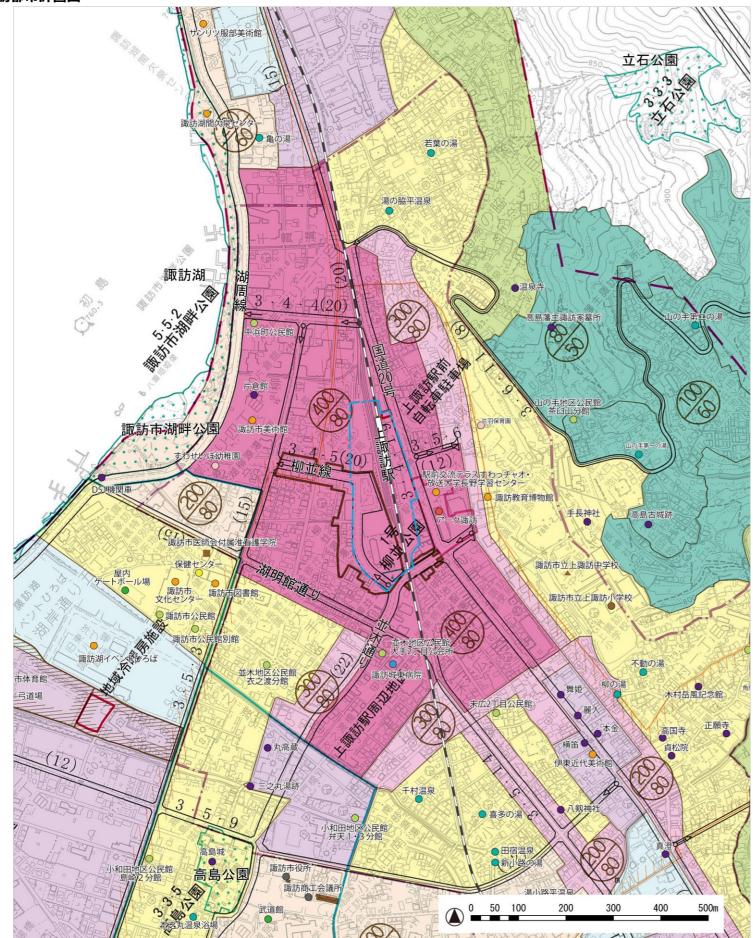
・市全体として周辺市町村に比べ、歩道設置率が低いことから、安心して歩ける環境が乏しいことが伺える

■安全・安心



資料: e-Stat「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」、その他の各種集計表データ(要データ編集)

■諏訪都市計画図





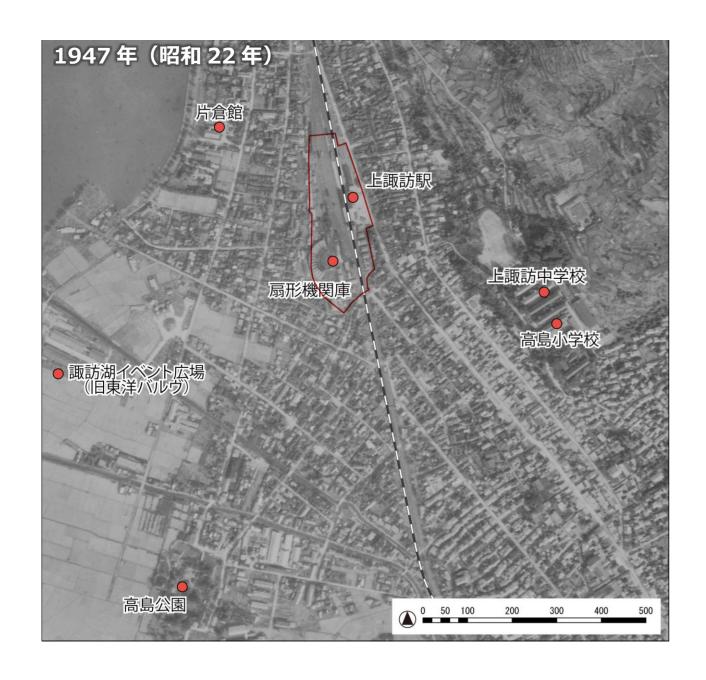
						50 100 200
者	市計	画 公 園		都市計	一	30 60 60
種別	番号	公園名	番号	路線名	番号	路線名
	2 • 2 • 1	尾玉公園	3.3.1	湖周線	3.4.28	広 瀬 橋 線
	2.2.2	ヒヤ池公園	3.5.3	中 浜 線	3.4.29	沖 田 線
	2.2.3	米田公園	3.4.4	鶴遊館線	3.5.30	沖田江川線
	2 • 2 • 4	中島公園	3.4.5	柳並線	3.5.31	江川橋線
街	2 • 2 • 5	高田公園	3.5.6	駅前線	7.5.3	砂原線
	2.2.6	二反田公園	3.5.7	大手豊田線	8 • 7 • 1	中島公園2号線
X	2 • 2 • 7	押堀公園	3.5.9	本 丸 線	8 • 7 • 2	中島公園1号線
公	2.2.8	新井下公園	3.6.11	立 石 線	8.7.3	塚田公園2号線
ale.	2.2.9	六 反 公 園	3.4.12	横湾幹道線	8.7.4	塚田公園1号線
園	2.2.10	上川公園	3.5.14	湖明三線路		•
328	2.2.11	中神公園	3.5.16	白狐東線		
	2-2-12	角間新田公園	3.4.17	湖岸武津線		
	2.2.13	豆田公園	3.4.18	神戸田辺線		
	2.2.14	栗ノ城公園	3.4.19	四賀上諏訪線		
沂	3.3.3	立石公園	3.4.20	諏訪バイバス沖田大和線		
隣	3.3.4	西山公園	3.4.21	中央幹線		
公	3.3.5	高島公園	3.5.22	神宮寺線		
園	3.3.6	沖田公園	3.5.23	神宮寺文出線		
地区公園	4 • 4 • 2	諏訪中央公園	3.4.24	四谷線		
総合	5 • 6 • 1	蓼の海公園	3.6.25	白 狐 西 線		
公園	5.5.2	諏訪市湖畔公園	3.4.26	新川線		
都市線地	1	柳並公園	3.6. 27	岡谷茅野線		

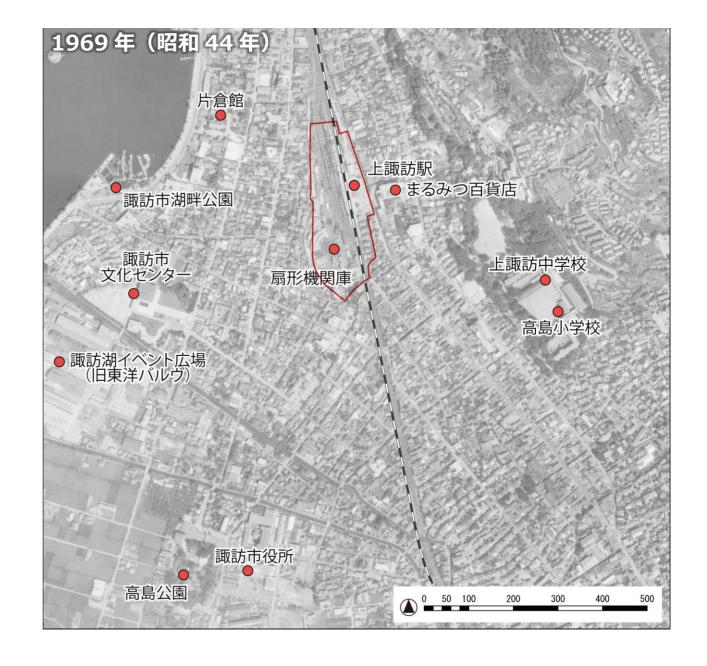
白地地域の建築形態制限区域

参考|上諏訪駅周辺の主な変遷

1876 / 明治 9	高島城が取り壊され、高島公園が整備される
1905 / 明治 38	上諏訪駅が開設される
1928 / 昭和 3	片倉館が建設される

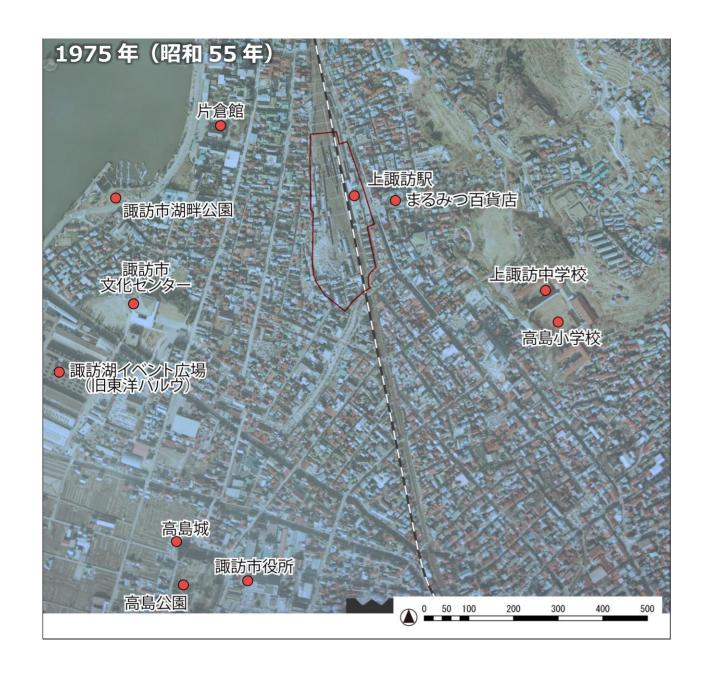
1950 / 昭和 25	上諏訪駅の現駅舎が完成する
1953 / 昭和 28	湖畔公園が整備される
1955~1965 昭和 30~40 年代	旧東洋バルヴ建屋が建設される
1962 / 昭和 37	諏訪市文化センター(北沢工業株式会社の福祉施設として)が建設される
1965 / 昭和 40	まるみつ百貨店(諏訪丸光)が開業する
1969 / 昭和 44	現市役所庁舎が建設される





1970 / 昭和 45 高島城が復興する

1979 / 昭和 54	スワプラザが開業する
1986 / 昭和 61	湖畔公園が大規模改修される
1989 / 平成元	現図書館が建設される
1992 / 平成 4	上諏訪駅西口が整備される 柳並公園が整備される
1993 / 平成 5	市駅前駐車場が建設される





2011 / 平成 23まるみつ百貨店が閉店する2014 / 平成 26スワプラザが閉店する

2019 / 平成 31アーク諏訪が開業する2021 / 令和 3柳並線が延伸する

